

令和3年度東浦町地域公共交通会議 事業報告

1 東浦町地域公共交通会議の開催

(1) 東浦町地域公共交通会議の開催

以下のとおり開催した。東浦町地域公共交通網形成計画(旧計画)の評価及び、東浦町地域公共交通計画(新計画)の改定等に関する協議・報告が主であった。

	日付	場所	協議内容
第1回	資料発送日 6月16日(水) 回答締切日 6月28日(月)	書面開催	1. 令和2年度東浦町地域公共交通会議事業報告について(報告) 2. 年度別状況、各路線、各停留所の利用者数について(報告) 3. 地域公共交通網形成計画の改訂について(協議) 4. 小・中学生を対象とした1乗車10円バスの中止について(報告)
第2回	7月15日(木)	緒川 コミュニティ センター	1. 交通計画改定に係る各種住民意識調査について(協議) 2. 「う・ら・ら」20周年イベントについて(協議) 3. 障害者手帳アプリによる障害者手帳情報の確認導入について(協議) 4. 令和3年度の乗車人数について(報告) 5. バスロケーションシステムの更新について(報告)
第3回	資料発送日 8月11日(水) 回答締切日 8月16日(月)	書面開催	1. ワークショップの目的・内容等について(協議)
第4回	資料発送日 9月24日(金) 回答締切日 10月11日(月)	書面開催	1. ワークショップの内容の一部変更について(協議) 2. グループインタビューの目的・内容等について(協議)
第5回	12月6日(月)	東浦町役場	1. 東浦町地域交通計画の素案について(協議) 2. 令和3年度の乗車人数について(報告)
第6回	資料発送日 12月27日(月) 回答締切日 1月7日(金)	書面開催	1. 東浦町地域公共交通網形成計画の評価について(協議)
第7回	1月26日(水)	緒川 コミュニティ センター	1. 東浦町地域公共交通計画(案)について(協議)
第8回	資料発送日 3月16日(水) 回答締切日 3月25日(金)	書面開催	1. 東浦町地域公共交通計画(案)について(協議) 2. 令和4年度東浦町地域公共交通会議予算(案)及び令和4年度東浦町地域公共会議事業計画(案)について(協議)

2 東浦町地域公共交通計画 改定に関する取り組み

■東浦町の公共交通とあなたの外出についてのアンケート

「東浦町地域公共交通網形成計画」の評価及び「東浦町地域公共交通計画」の目標設定に必要な情報の聴取を第一目的とし、公共交通に対する意識・行動変容を促すことも狙ったアンケート調査「東浦町の公共交通とあなたの外出についてのアンケート」を実施した。

	内容
調査期間	発送日:7月27日(火)、回答締切日:8月31日(火)
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査票の郵送配布・郵送回収 ● 調査票は本人用1部、同居家族用2部の計3部
調査対象	住民基本台帳に登録されている12歳以上の住民から抽出。 なお、調査対象には抽出者である本人のご家族も含む。
配布者数	900人
回答者数	<ul style="list-style-type: none"> ● 抽出者であるご本人900人のうち、234人から回答あり ● ご本人に加え、そのご家族を含めた445人、238世帯から回答あり
回答率	26.0%



■住民グループインタビュー

住民の公共交通に対する意識、利用状況、政策への意向を把握するため、グループインタビュー形式でヒアリングを実施した。定員やヒアリング時間は、定員10名以内、ヒアリング時間90分程度とした。なお、聞き手は名古屋大学大学院 教授 加藤博和氏が務めた。

全体の流れは「1 地域公共交通の大切さ(説明)」、「2 自己紹介(公共交通との関わり)」、「3 テーマ別意見交換会」、「4 感想用紙の記入・提出」とした。

	小学校区	日付	場所	参加者数
1	卯ノ里小学校区	10月30日(土)	卯ノ里コミュニティセンター	12名
2	森岡小学校区	10月30日(土)	森岡コミュニティセンター	10名
3	緒川小学校区	10月30日(土)	緒川コミュニティセンター	8名
4	生路小学校区	11月3日(水・祝)	生路コミュニティセンター	7名
5	藤江小学校区	11月3日(水・祝)	藤江コミュニティセンター	9名
6	石浜西小学校区	11月23日(火・祝)	県営東浦住宅集会所	9名
7	片葩小学校区	11月23日(火・祝)	石浜コミュニティセンター	15名



3 「う・ら・ら」20周年イベント

■ワークショップ

1つのテーブルに3～4名のグループを作り、各グループでの話し合いを中心としたワークショップを実施した。全2回のプログラムを通して、参加者1人1人に自分らしい公共交通とのかかわり方を発見してもらい、以下の到達目標の達成を目指した。

- ① 参加者自身が、公共交通を利用する機会を増やせるようになる(自分の変容)
- ② 参加者が周囲の人へ、公共交通を利用する機会をつくれるようになる(他人に向けた変容)

ワークショップ各回のテーマは以下のとおり。なお、全体進行や説明等を名古屋大学大学院 研究員 大野悠貴氏が務めた。

	日付	場所	テーマ	内容
第1回	11月19日 (金)	イオンモール 東浦	本当に 大事なおでかけは何？	「今おでかけしたいところ」、「将来にわたっておでかけしたいところ」を可視化することで、日々のおでかけ行動を省みてもらい、自分にとっての「おでかけの大切さ」に気づいてもらう。
第2回	11月20日 (土)	イオンモール 東浦	私の暮らしに公共交通を “ちょい足し”してみよう！	公共交通を使いこなすために、自分や周囲の人の暮らしに公共交通を“ちょい足し”するためのレシピを考え、発表し合う。 ※“ちょい足し”レシピの例：自分が利用する機会をつくる、周囲の人が利用する機会をつくる、利用しやすい環境をつくる、等



4 新型コロナウイルス感染症対策の周知関係

■バス車内に周知ポスターを掲載

令和元年度中より引き続き、1号車～4号車、12号車に、車内の防疫対策や咳エチケット等の周知ポスターを掲載している。

■町ホームページに周知記事を掲載

令和元年度中より引き続き、町ホームページに、車内の防疫対策や混雑状況についての周知記事を掲載している。

5 東浦安心おでかけキャンペーン

■イオンモール東浦でのサイネージ投影

令和3年1月からイオンモール東浦の大型サイネージ及び小型サイネージにダイヤ改正の周知記事を投影した。

■東浦安心おでかけマップ 2021 を配布

「う・ら・ら」の防疫対策や町内の商業施設の混雑状況等を掲載した小冊子を印刷し、広報ひがしうら令和3年4月号に折り込み全戸配布した他、イオンモール東浦やげんきの郷等の協力店舗のラックに配架した。



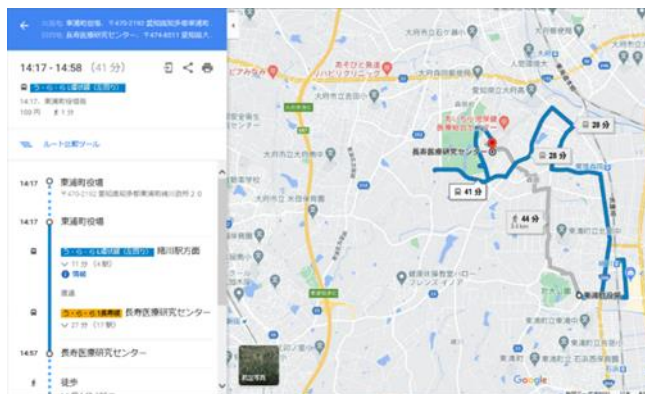
6 公共交通検索サービス

「う・ら・ら」の乗り継ぎ案内や電車への乗り換え案内を可能にする公共交通検索サービスを導入。令和3年2月からの新ダイヤもオープンデータ化し、「Google マップ」等のサービスも更新。

■利用可能サービス

「NAVITIME (ナビタイム)」、「ジョルダン」、「駅すぱあと」、「Google マップ」

■導入年月 平成 29 年 10 月～



7 「う・ら・ら」&エコモビ達人教室

緒川保育園及び藤江保育園の年長園児を対象に、実際に運行している「う・ら・ら」の車両を用いて乗り方を学ぶ。

■日時・参加者数

	日時	参加者数
緒川保育園	2月22日(火) 12:30~13:30	77名
藤江保育園	2月22日(火) 9:30~10:30	62名

※東ヶ丘幼稚園は園長の意向で中止



8 有料広告

公費負担額縮減と地元企業等による公共交通を支える意識の拡大を図るため、「う・ら・ら」への有料広告を実施。

実施台数 6台

■実績

	広告収入	契約者数
令和3年度	564,000円	6者
令和2年度	948,000円	6者
令和元年度	884,000円	9者
平成30年度	786,000円	9者
平成29年度	968,839円	10者
平成28年度	834,000円	9者
平成27年度	657,065円	7者
平成26年度	596,934円	9者
平成25年度	663,000円	8者
平成24年度	749,000円	4者